

⑤2024年問題への取組みについて

	日ノ丸西濃	埼玉西濃	西濃エクスプレス	S&Nロジスティクス	朝日梱包
新たに取組みした内容 (テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年問題にあたり「拘束時間超過便」の解消</li> <li>・始業時間を1～2時間前倒しを行う</li> <li>・STC／社内店所と調整を図り、立ち寄り変更を行う事で、拘束時間の短縮を図る</li> <li>・同業他社の幹線請負い便については、同業他社への交渉を行い、業務改善を含めた拘束時間短縮への交渉を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週40時間を超える時間外労働を減らす(週休2日をとる)ことを目指し、人員を増やす体験アルバイトから正社員登用に繋げるなど、募集方法等を見直しながら継続する</li> <li>・乗務可能な事務職員の配属転換や現業職員の業務の見直しをすすめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年9月より出退勤時間の随時管理の為、全乗務員を対象にスマホを使って出退勤時間を入力するシステムを導入し稼働中</li> <li>・定期運行コースで“24年度以降新改善基準告示に抵触する可能性がある運行コースをお客様に個別に改善申し入れ現行の運行実績・時間(before)と、改善後(after)を具体的に時間軸でダイヤを明示、改善の必要性とメリットをお客さまと共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配送業者との時間連携強化 →車両到着見込時間による、作業順序の調整</li> <li>・お客様への出荷締め時間の前倒しを交渉中(若しくは、早い時間帯での発注数増)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日出荷商品は、午前中を目安に作業を完了させる</li> <li>・完成した商品をパレットに積む際に、STC東京支店の発送路線パース別に仕分けを行い集荷帰店後の仕分け作業の短縮が出来るように出荷側としてできる事を行う</li> <li>・また、運べる物量も限られてくる事からお客様には作業期間や納期に余裕をもってもらう様、交渉をして行く</li> </ul>
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拘束時間超過ダイヤ18便のうち11便の始業時間・立ち寄り変更等の内容見直しを実施スプレッドシートにて実態を検証を行い、改善が図れた</li> <li>・未改善の7便のうち同業他社の幹線請負いを行うダイヤについては、11月16日に同業他社を訪問し課題点と改善策について協議を実施積極的な改善協力姿勢は得られたものの、抜本的な改善には至らない為、他運行ダイヤと入れ替えも視野に年明けの改善に向け調整を進めているその他ダイヤについても、店所の枠を超え運行便の調整を図り、発足した「運行プロジェクト」にて代替えの検討を続けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用が想定まで進まず、交代で休める環境が整わない採用基準や条件などの緩和も含めて要検討</li> <li>・すでに時間外労働の多い事務職員、現業職員もいる為SDの補助的な業務まで行うのは厳しい状況が続いている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16時間超 …第2Q 月間平均27.7日⇒11月度9日</li> <li>・15時間超週2回超 …同1.3回⇒1回</li> <li>・運転時間2日平均9時間超 …同8.3回⇒3回</li> <li>・連続運転4時間越 …同7.3回⇒6回と減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着車時刻と、倉庫側の積荷の準備完了時間を連携</li> <li>・着車時刻順に荷物を作ることで、荷待ち時間の減少を図る</li> <li>・締め時間の遅いお客様(10社様)へ交渉中</li> <li>・締め時間を早められない場合は、早い時間帯のバッチにオーダーを寄せて頂くよう依頼している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・STC発送分については東京支店路線パース1F分・3F分の仕分けを行い、シューターを使用できる商品についてはAライン・Bライン別に仕分けをしてパレットに積み引き渡すことで、帰店後の作業時間短縮に貢献</li> <li>・方面別に出荷できる商品については着店別にパレット積を行い、仕分け作業の軽減を図って行く</li> <li>・また、他の運送業者についても帰店後の仕分け作業を軽減する為の打合せを行い、出荷側としてできる事を進めて行く</li> </ul>